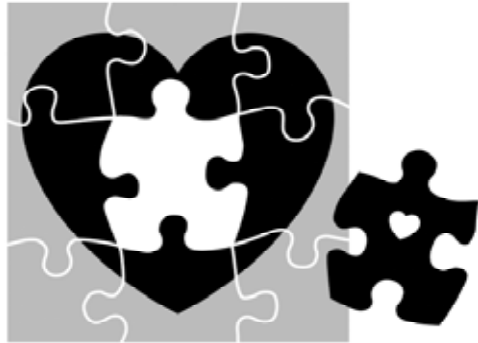


問い直そうヒロシマ・ナガサキ 被爆者の目と人間の心で

No More HIROSHIMAs NAGASAKIs



International Citizens' Conference

# ノーモア ヒロシマ・ナガサキ 国際市民会議

と き：2005年7月29日(金)  
～31日(日)

と ころ：東京・日本青年館 大ホール他

## 分科会 テーマ

7月29日～31日

分科会1 広島・長崎の原爆被害の実相解明

身体的被害 精神的被害

分科会2 核兵器の犯罪性

原爆投下を裁く  
核兵器の非合法化へむけて

分科会3 被爆者の要求と権利拡大

被爆者の国家補償要求  
被爆者政策  
集団訴訟の現状と意義  
在外被爆者の現状と課題  
被爆二世・三世  
国内の核被害者

分科会4 ヒロシマ・ナガサキを語り継ぐ

平和教育 実践交流 メディア

## 特別プログラム

Classic Concert 「M I Z U W O」

と き：7月30日(土) 18:30～

入場料：A席(全席指定)5,500円(前売り5,000円)

B席(全席自由)4,500円(前売り4,000円)

指揮者：ヘルピーク・ライター

(2003年オーストリア音楽栄誉賞受賞)

## 被爆60年市民集会

と き：7月31日(土) 13:00～

入場料：1,000円

・パネルディスカッション

・記念コンサート

出演：寿

李政美(いじょんみ)

集会のあとピースパレードを計画しています。

## 参加費について

1日券 2,000円

3日通し券(市民集会含む) 5,000円

(学生割引一日1,000円、三日通し2,500円)

クラシックコンサートは別料金となります。

## 賛同のお願い

個人一口2千円 団体一口5千円

口座番号 00120-8-259-509

口座名称 ノーモア ヒロシマ・ナガサキ国際市民会議

2003年、高齢化がすすむ広島・長崎の被爆者が各界各層に呼びかけて実行委員会を結成し、被爆60年の今夏「ノーモア ヒロシマ・ナガサキ国際市民会議」を開催します。

被爆から60年近くが経過した現在、私たちはあらためてヒロシマ・ナガサキを見つめていきたいと思っています。みなさまのご参加をお待ちしています。

また、この会議は皆様の賛同金で運営しております。賛同金へのご協力もよろしくお願ひします。

## よびかけ人

秋葉忠利(広島市長)

伊藤一長(長崎市長)

井上ひさし(作家)

喜納昌吉(シンガーソングライター)

高橋哲哉(東京大学教授)

土山秀夫(元長崎大学学長)

坪井直(日本被団協代表委員)

藤平典(日本被団協代表委員)

早坂暁(作家)

肥田舜太郎

(日本被団協被爆者中央相談所理事長)

水島朝穂(早稲田大学教授)

山口仙二(日本被団協代表委員)

湯川れい子(音楽評論家)

郭 貴勲(韓国原爆被害者協会会長)

ノーモアヒロシマナガサキ国際市民会議事務局

〒160-0013

東京都新宿区霞ヶ丘町7-1

日本青年団協議会気付

tel 03-3475-2490/fax 03-3475-0668

URL: <http://www.hibaku60icc.org>

E-mail: [hironaga@jca.apc.org](mailto:hironaga@jca.apc.org)

参加のご案内チラシと申込書が近日中に完成予定です。

